

国語科学習指導案

日 時 令和4年7月13日(水) 6校時

指導学級 第3学年2組(教室)

指導者 教諭 佐藤 恵美

- I 単元名 「観察・分析して論じよう ポスターの批評文」
(東書・新しい国語P107～P113)

II 指導に当たって

1 単元観

本単元は、中学校指導要領、第3学年の【知識及び技能】「(1)イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、引用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること」「(2)ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること」【思考力、判断力、表現力等】B 書くこと

「(1)ア 批評の対象を観察・分析したり比較したりして、伝えたいことを明確にすることができる」と「(1)ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること」【学びに向かう力、人間性等】「言葉が持つ価値を認識するとともに、読書をして自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする」ことができるよう指導するための単元である。「書く学習(論証・説得)」の学習については第2学年では「根拠を吟味して書こう」で根拠の適切さや文章の構成、説得力のある意見文の書き方を学習している。

今回学習する内容は、社会生活の中から関心のある事柄を選択し、批評文を書くことを通して、論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を身に付けさせることができる。

関心のある事柄を批評するには、書き手の視野の広さや論理的に物事を考える力が必要となる。書き手の主観だけではなく、客観的・分析的に物事を見つめる姿勢を持たせることが「複数の情報源から情報を収集し、科学的・客観的に思考する技能」を養うことにつながる。

2 生徒観(省略)

3 指導観

これまで、俳句の鑑賞文を書く活動や、根拠を明らかにして意見文を書く活動を行ってきた。本単元の指導にあたっては、説得力のある批評文を書くために、批評の手順を理解させたい。そこで、今回の単元では、資料を参考にしたり引用したりして説得力のある批評文を書くとともに、それぞれの批評文を交流することにより、根拠を持った説得力のある批評文を書く力を高めていきたい。また、複数の対象を比較・分析し、様々な角度から捉え、情報を吟味し自身の根拠を説得力のあるものにしていく活動を通して、相手（読み手）を意識した文章を書くことができるようにしていきたい。活動の流れとして①文章の分析・比較②自分の意見を持つ③批評文を書く④評価の4つの活動を設定する。

以下のような手立てを行うことで、自分の考えに説得力を持たせられる生徒の育成を目指したい。

- ① ポスターを自分で選ぶという課題を設定したり、活動しやすいワークシートを準備したりすることで、課題意識を持って主体的に取り組ませる。
- ② 一人一人が自分の考えをまとめたあと、他者の批評文を批評（評価）することで自分の文章のさまざまな問題点に気付かせるようにする。
- ③ 考えを広げ、深めさせる学び合いの工夫として、タブレット端末を活用しペアや一斉学習で意見を共有させる。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

ア 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

(知識及び技能)

イ 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫することができる。

(思考力・判断力・表現力等)

ウ 批評の対象を多面的に捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って説得力のある批評文を書くことができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、表現の仕方と考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫している。	批評の対象と多面的に捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。

5 指導・評価の計画（全6時間）

順	題材名及び目標	主な学習活動	評価規準・評価方法			個別最適な 学びの手立て
			知・技	思・判・表	態	
1	〔題材名〕 「観察・分析して論じようー『ポスター』の批評文」 ○学習の流れを確認しよう。	・批評文の書き方を確認する。 ・参考文献を読む。 ・「海外の人々に日本旅行を勧める」3つのポスターをそれぞれ観察して特徴を書く。分析して考えたことも書く。（宿題）		「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 【行動観察・記述分析】		・意識したことを家庭学習で個別に対応させる。
2	○海外の人々に日本旅行を勧めるポスター3つのうち最も優れていると思う物を選んで、説得力のある批評文を書こう。	・資料を参考にしたり、引用したりして説得力のある批評文を書く。 ・引用するときのルールも押さえる。		「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 【行動観察・記述分析】	学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。 【行動観察・記述分析】	・例を参考にしながら問いを立てる練習をさせる。
3	○書いた批評文を読み合って評価しよう。	・前時に書いた批評文をグループで読み、評価する。 ・他の人のものの見方や考え方、文章の書き方などについて気付いたことや考えたことを書き留める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、批評を書くときに適切な語句を選択することができる。 【発言分析・行動観察】		学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。 【発言分析・行動分析】	・観点や問いに対してアイディアを出し合い、考えを深めさせる。 ・タブレット端末内でメモをとらせる。
4 (本時)	○3つのポスターを比較し、根拠となる事柄を取捨選択する。	・ポスターを観察して特徴を書き出し、それぞれの特徴について分析して考えたことも書く。 ・批評の対象について、観察したり、比較したりして自分なりの判断を下す。 ・論の進め方を考え、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、批評を書くときに適切な語句を選択することができる。 【発言分析・行動観察】	「書くこと」において表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 【行動観察・記述分析】	学習の見通しを持って説得力のある批評文を書こうとしている。 【行動観察・記述分析】	・教科書の批評するときの言葉などを参考に、伝えたいことを書くための言葉や表現を考えさせる。
5	○批評文を読み合って評価しよう。	・推敲して仕上げ、批評文を読み合う。 ・の意見を回し読	理解したり表現したりするために必要な語句の量を	「書くこと」において、表現の仕方を考えたり	学習の見通しを持って説得力のある批評文	

		みし、各自それぞれの批評文について、評価を書き込んだりメモしたりする。 ・それぞれの批評文が依拠している観点について、なぜその観点を最重要として選んだかを出し合い、話し合う。 ・学習を振り返って、学んだことをまとめる。	増やし、批評を書くときに適切な語句を選択することができる。 【発言分析・行動観察】	資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 【行動観察・記述分析】	を書こうとしている。 【行動観察・記述分析】	
--	--	---	---	---	----------------------------------	--

Ⅲ 研究テーマとの関連

1 校内研究における教科等重点実践事項

本校の研究テーマ「自ら課題を見つけ、探求的、協働的に解決できる生徒の育成～目的に応じたICTの活用を通して～」を受けて、国語科の重点実践事項を「文章読解を通して自分の考えを深め、自分の立場や根拠を明確にしてタブレット端末を活用して表現できる力を育成する。」としている。

2 校内研究における取組の経緯

授業の導入部分で前時の確認をし、終結で目標に対しての振り返りを行う活動を設定したりして、自分の考えを持てるようにしている。また、相手の文章を批評したり、自分の文章を見直したりする活動を設定し、ICTを活用して可視化できるようにしている。

Ⅳ 本時の指導

1 題材 「観察・分析して論じよう」

2 目標

ポスターを比較・評価して適切な根拠を示して自分の考えを書くことが出来る。

3 指導における工夫

研究の視点から考えた以下のような手立てを講じれば、本時の目標を達成することができると思う。

(1) **【視点1】**「生徒が自己調整しながら学習を進めていくための工夫（探求的な学び）」

手立て③ノートづくり、ワークシート、ホワイトボード、プレゼンテーション等（ICT機器）を活用し、生徒の考えを可視化するための工夫をする。**【5つの提言④】**

- ・ロイロノートを活用し、個別で考えた意見を学習班の中で評価し合わせる。
- ・ロイロノートを活用し、個人の意見の可視化を図り、全体で共有しながら個々の考えを深める。

(2) 【視点2】「伝え合う力を高める手立ての工夫（協働的な学び）」

手立て①日常的に「書く」「読む」「話す」活動の時間を設定する。

【5つの提言④】

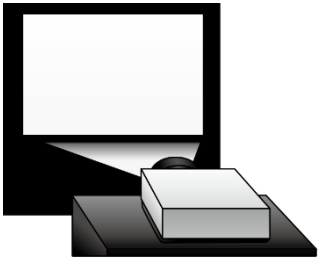
- ・確かな根拠を挙げて表現する力を身に付けさせるために、個人の考えや意見を述べる機会を確保する。

4 指導過程（別紙）

5 評価

観 点	評 価 規 準	A・C段階の生徒への支援
知識・技能	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、批評を書くときに適切な語句を選択することができる。	A 作品を評価し合う中で、他の作品の文章の構成や表現方法のよさに気付き、自分で推敲している。
	〔Aの状況〕 観察・分析したことを具体的な事例を用いて説明したり具体的に説明してきたことを抽象化してまとめたりしている。	C 参考になるメモを選び、根拠になる箇所を選ばせる。
思考・判断・表現	「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。	A 自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。
	〔Aの状況〕 根拠となった観察・分析を具体例に挙げるができる。	C 批評文の例や他の生徒の批評文を参考にさせる。

6 板書計画



【黒板】
観察・分析して論じよう
目標
ポスターの特徴を観察しよ
う。

7 資料（別紙）

（1）参考資料（配布資料）

IV - 4 指導過程

段階	生徒の学習活動			教師の支援	
	学習活動	予想される反応・動き	形態	◇支援・◆留意点 ・【5つの提言】 資料	評価 (観点) <方法>
導入 5分	1 前時の課題の確認をする。 (3分)	・前時の学習内容を振り返る。	一斉	◇ポスターの特性や価値について確認させる。 視点1③	
	2 本時の学習の確認をする。 (2分)		一斉		
ポスターの特徴を観察しよう。					
展開 40分	3 ポスターを見観察・分析する。 ① 個で確認する。 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの審査員になったつもりで、3つのポスターのうちどれが優れているかを判断し、自分の考えをまとめる。 ・自分の気付きや引用する箇所の確認をする。 	個別	<ul style="list-style-type: none"> ◇ポスターを3枚提示する。 ◇参考資料を配付する。 ◇前時の宿題にしておく。 ◇「参考資料」から引用する言葉を選ぶよう促す。 視点1②③ 	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、批評を書くときに適切な語句を選択することができる。 [行動観察・記述分析]</p>
	② 班の意見を共有する。 (10分)		<ul style="list-style-type: none"> ・個々にまとめた内容を班内で説明し合い、ロイロノートを活用して交流する。 ・各自の気付きを交流し、評価する。 ・互いの観点を確認し合う。 		

	<p>4 全体で意見を共有する。 (10分)</p> <p>5 構成を考え、批評文を書く。 (10分)</p> <p>6 批評文を読み合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引用する資料を選び、出典を明確にする。 ・分析を基に説得力のある構成を考える。 ・600字から800字で批評文を書く。 	<p>一斉</p> <p>個別</p> <p>一斉</p>	<p>◆他の生徒が書いた意見を読ませ、読みにくいと感じたりわかりにくいと思ったりした部分に線を引いてコメントさせる。</p> <p>◇批評文の例や他の生徒の批評文を共有させる。</p> <p>◇構成の例や生徒の構成を参考にさせる。</p>	<p>「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 [行動観察・記述分析]</p> <p>「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。 [行動観察・記述分析]</p>
<p>終結</p> <p>5分</p>	<p>7 学習を振り返り、自己評価をする。 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の記録に交流を通して深まったことについてまとめる。 	<p>一斉</p>	<p>◆振り返る項目を示し、タブレットで簡単に記述させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時では推敲して仕上げ、批評文を読み合うことを伝える。 	